

2025 年度 7 月 栃木県生協連 定例報告

1. 機関会議等

● 7月 8日(火) 第1回 常務理事会

【議決事項】

- 第 1 号議案 「会費規定」一部改定 承認の件
- 第 2 号議案 「県連事務所移転」決定の件
- 第 3 号議案 「とちぎカーボンニュートラル実現会議」委員推薦 承認の件
- 第 4 号議案 第 2 回定例理事会附議議案 承認の件

【協議交流事項】

- (1) 総会の振り返り (運営・議事録の件)
 - ・通常総会議事録
 - ・総会報告
- (2) 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課との交流について
 - ・次第
 - ・会員報告のフォーマット検討

【報告事項】

- (1) 「月度の定例報告」及び月次決算報告
 - ・消費者カレッジ経過報告
 - ・「沖縄戦跡視察研修」のご案内

【その他】

重点リスク管理 半期点検報告



● 7月14日(月) 第1回 くらし部会

2025 年度の学習会テーマについて話し合いを行いました。第 1 回目の学習会テーマを「被爆・戦後 80 年」とし、第 2 回学習会については、次回の部会で再度話し合うこととしました。併せて「第 20 回うつのみや食育フェア」について全体としてのテーマを話し合い、テーマに沿って各生協のパネル作成成分担を決定しました。

2. 行政関係

● 7月 18日(金) 栃木県次期プラン策定部会(安全・安心部会)

6月の次期プラン策定懇談会にて確認された「部会」が開催されました。それぞれ 5～8人の委員で構成される 5 つの部会のうち、生協連は「安全・安心部会」に参加しています。①危機管理・災害対応 ②いのちと暮らしを守る県土づくり(インフラ) ③みんなで創る安全・安心(交通安全、犯罪の未然防止、安全安心な消費生活の確保)

の3つをベースに意見が交わされました。

特に、防災および安全安心な消費生活の確保については「知ること」が大切という共通点がありますが、学校教育等を通して、子どもや若者が情報に触れることの必要性や、さらに地域に情報を広げてゆける環境づくりを目指すことの重要性について意見がありました。

**次期重点戦略の
取り組みを検討**
県庁で部会初会合
県の次期重点戦略(2026～30年度)について有識者らの意見を聞く県次期プラン策定懇談会は18日、戦略の重点的な取り組みを検討する部会の初会合を県庁で開いた。この日は5部会のうち「健康・共生」「安全・安心」の2部会で委員が専門的見地から意見を述べた。残る3部会も今月中に会合を開く。
各部会は10月上旬ごろまで議論を重ね、11月の懇談会で示される第2次素案への意見を取りまとめる。

3. 防災

- 7月 2日(水) 令和7年度 災害ボランティアネットワーク会議

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会主催で、県や県内の市町行政、各社会福祉協議会、その他企業・団体などが参加し、事例発表や意見交換などを行いました。今年は能登地震および豪雨災害にボランティアセンター活動の運営を行っている「輪島市福祉協議会の槌谷氏」を講師に迎え、当時の状況や現状についてお話し頂きました。その後、参加者がグループに分かれ有事の際に出来ることの共有、平時から連携して出来ること等話し合いを行いました。

- 7月 9日(金) 栃木県・宇都宮市総合防災訓練 第2回全体会議

第2回全体会議が県庁にて開催されました。8月31日開催当日の全体の流れやタイムスケジュール、車両導線等について説明がありました。他、展示訓練の変更点やWEB展示物の様式や提出に関する情報提供がありました。第3回全体会議の日程が急遽、変更になり、第3回全体会議の参加と、当日の詳細について、別途、参加生協との間で検討を進めます。

- 7月 11日(金) 日本生協連 中央地連 第1回 大規模災害連絡協議会

能登半島支援の現状についての報告の他、大規模災害連絡協議会の規定の見直しについて報告がありました。参加者からは行政や他団体との防災に対する協同の取り組みやMC A無線に替わる端末導入検討について報告されました。

4. その他

- 7月 4日(金)2025国際協同組合年 栃木県記念フォーラム

国際協同組合年である今年、栃木県内の各協同組合組織が集まって立ち上げた「栃木県実行委員会」が主催として、栃木県JAビルにて、記念フォーラムを開催しました。「協同で創る持続可能な地域づくり」と題し、摂南大学の北川太一氏を講師に迎え、講演会を開催した他、協同組合の組織を広く知っていただくため、実行委員会を代表した3団体（栃木県農業協同組合中央会、栃木県森林組合連合会、栃木県生活協同組合連合会）が活動紹介を行いました。広く広報などを行った結果、会場には、一般消費者を含む、協同組合関係者が約180名と大変多くの参加となりました。



- 7月 5日(土) 第103回国際協同組合デー記念イベント

「“協同”がより良い世界を築く～連続シンポジウム・座談会」《ZOOM参加》

毎年7月第1土曜日は国際協同組合デーであり、今年は国際協同組合年であることを記念して「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」を開催されました。各種展示やイベントが行われる中『連続シンポジウム・座談会』では「SDGsと協同組合～実践状況、達成への課題と期待」「持続可能な暮らしのために、先人から学び、未来へつなぐ～協同組合の父 賀川豊彦とSDGs～」と題した講演会が、ハイブリットで行われました。講演会では、SDGsをめぐる状況の共有の他、現役大学生からの生協への期待や多様なステークホルダーからの意見、賀川豊彦の活動、北欧社会と協同組合について等、幅広い観点からSDGsを考えなおす機会となりました。

- 7月22日(火) 第1回中央地連・部会運営委員会（主な報告）

全体概況報告からは6月度概況報告、コープ共済連進捗報告、運営・組織関係からは、第75回通常総会の開催報告について、2025年中期方針セミナーの開催概要について、「生協の2030環境・サステナビリティ政策」に関する2024年度到達点と2025年度の進め方について、被爆・戦後80年の取り組み進捗報告、認知症バリアフリー宣言の賛同と宣言の呼び掛けについて、2025国際協同組合年全国実行委員会での取り組み進捗について、2025年度常勤監事による監事監査に関わるエリア別相談体制について

- 7月22日(火) 第1回中央地連・県連活動推進会議（主な議題）

日生協からの報告として2025年度版「県連主催の各種研修用標準プログラム」の情報提供、CO・OP共済地域ささえ合い助成2026年度募集のお知らせ、2025年度県連活動交流会の開催について、都県生協連の交流では、2025年度の都県生協連重点課題と進捗状況について、被爆・戦後80年の取り組み、IYC2025に関わる取り組みについて報告を行いました。

- 7月24日(木) 全国協同組合連携組織ブロック別情報交換会<<ZOOM>>

「連携を進めるためのガイドブック」の紹介、県域連携組織（関東・甲信越・静岡ブロック）の活動報告の後、相互交流を行いました。活動報告では、IYC2025で新たに広がった連携組織の報告やイベント等に関する報告がされました。JCA企画のシンポジウム・座談会のアーカイブ情報、募集中のチャレンジムービーコンテスト2025募集告知等もありました。

- 7月30日(水) 津波警報（震源地：カムチャッカ半島付近）

午前8時25分ごろ、ロシア・カムチャッカ半島付近を震源とする地震(M8.7)が発生し、この地震の影響で太平洋側を中心とした広い範囲に「津波警報」と「津波注意報」が気象庁より発信されました。生活協同組合パルシステム茨城 栃木に向けて情報提供を依頼したところ、14時5分に「緊急情報を元に、沿岸地域にある かしまセンターは一時従業員を高台に避難をさせました。現在はセンターに戻り通常業務を行っております。」との報告がありました。

- 7月 7日(月) 第2回 クリーンアップ・ウォーク（定期ゴミ拾い）

地域への環境活動として、県連事務所付近と県道64号線から宇都宮駅東口付近までのエリアでゴミ拾い活動を行いました。

<目的>

- (1) 環境美化保全
- (2) プラスチックごみの海洋への流出を防ぐ、生態系配慮
- (3) リサイクル可能ゴミの有効活用、CO2排出削減



ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

● 7月15日(火) 第1回とちぎ食の安全ネットワーク学習会《参加者：71名》

■演題：食料安全保障問題を考える

■講師：東京大学大学院 特任教授・名誉教授 鈴木 宣弘 氏

食料安全保障問題について、現在のコメ問題は価格の問題だけでなく根本的な食料危機の考え方が招いた事態であることや循環農業の衰退による環境問題、学校給食が鍵となって人々の意識改革につながる可能性等、幅広い視点で、分かりやすく説明を頂きました。



2. とちぎ消費者ネットワーク

● 7月 1日(火) 第2回とちぎ消費者ネットワーク 幹事会

毎年実施している、栃木県消費者行政推進室との意見交換会を開催しました。

1. 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課 消費者行政推進室との意見交換会

〔ご報告〕 消費者行政推進室 室長 神山 喜代治 氏

副主幹 山内 暁美 氏

副主幹 増子 文子 氏

主査 阿久澤 由紀子 氏

・令和6（2024）年度における年内の消費生活相談状況について

・第3期 栃木県消費者基本計画の骨子案について

・質疑、意見交換

2. 「とちぎ消費者カレッジ」進捗状況

3. 参加団体からの活動報告

● 2025 年度 7 月度 とちぎ消費者カレッジ開催報告

開催日・開催校	講師	演題	人数
7 月 29 日(火) 文星芸術大学	とちぎ消費生活サポートネット 理事長 白土 美代子 氏	若者の消費トラブル ～事例から身を守る術を学びましょう～	95 名

栃木県生協連 2025 年 8 月度、9 月度の活動予定

2025 年 8 月 1 日(金)

2025 年 8 月度予定	
1 日 (金)	MCA無線訓練
4 日 (月)	定期ゴミ拾い
5 日 (火)	第 2 回 定例理事会 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課との意見交換会 栃木県・宇都宮市総合防災訓練 第 3 回全体会議
6 日 (水)	栃木県プラスチック資源循環協議会
7 日 (木)	第 3 回 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
8 日 (金)	とちぎカーボンニュートラル実現会議 栃木県・宇都宮市総合防災訓練 参加団体ミーティング
20 日 (水)	とちぎ食と農アクションプロジェクト
28 日 (木)	コンプライアンス学習会(ZOOM)
30 日 (土)	宇都宮中央卸売資料開設 50 周年式典
31 日 (日)	栃木県・宇都宮市総合防災訓練
2025 年 9 月度予定	
1 日 (月)	栃木県消費生活安定対策審議会 クリーンアップウォーク (定期ゴミ拾い)
2 日 (火)	第 3 回 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
3 日 (水)	消費者カレッジ (宇都宮大学 動画撮影)
8 日 (月)	第 2 回 くらし部会
9 日 (火)	第 2 回 常務理事会
19 日 (金)	消費者カレッジ (那須看護専門学校)
24 日 (水)	消費者カレッジ (足利大学 看護学部) 地域生協と中央労働金庫との意見交換会
29 日 (月)	消費者カレッジ (宇都宮中央高等学校 : 3 年 1 組・1 年 1 組)
30 日 (火)	第 2 回 とちぎ食の安全ネットワーク学習会

栃木県生活協同組合連合会